

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年1月20日(2011.1.20)

【公開番号】特開2009-136378(P2009-136378A)

【公開日】平成21年6月25日(2009.6.25)

【年通号数】公開・登録公報2009-025

【出願番号】特願2007-313462(P2007-313462)

【国際特許分類】

A 45 D 44/22 (2006.01)

【F I】

A 45 D 44/22 D

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月29日(2010.11.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

両端部が閉じる方向に付勢された弾性材本体と、この弾性材本体の両端部に形成され首筋の両側に接着して接着部を互いに内側に引寄せる接着部とからなり、弾性材本体と接着部は一体的に形成されてなる首の皺、たるみを除去するための皺除去クリップ。

【請求項2】

前記クリップはシリコン材からなり、前記弾性材本体は両端部が開口したほぼ円形をなし、前記弾性材本体には弾性補強材からなるリブが形成されている請求項1記載の皺除去クリップ。

【請求項3】

前記接着部にはそれを肌に接着するための接着剤が付着されている請求項1又は2記載の皺除去クリップ。